



岩手大学地域防災研究センターでは、自然災害や防災・減災あるいは被災地の復興やまちづくりに関する調査・研究・活動を通して得られた知見を広く知っていただくために、「地域防災フォーラム」を定期的に開催しています。

平成 24 年 4 月の設立から、自然災害解析、防災まちづくり、災害文化の 3 部門はさまざまな取り組みを行ってきました。第 5 回目となる今回のフォーラムでは、各部門での取り組みを報告し、特徴的な取り組みの成果を紹介いたします。



## 第 5 回 地域防災フォーラム

# 地域防災研究センター平成 24 年度活動報告

日時：平成 25 年 8 月 30 日（金） 18:00 ～ 20:30（開場 17:30）

会場：岩手大学工学部復興祈念銀河ホール（入場料無料・事前申込不要）

プログラム：

開会挨拶及び地域防災研究センター活動報告 18:00 ～

「何を、どう伝えるか」

岩手大学地域防災研究センター長 堺 茂樹（工学部教授）

自然災害解析部門報告 18:30 ～（進行：土井宣夫部門長）

「建物被災メカニズム解明のための数値津波水槽の開発」

小笠原 敏記（工学部准教授）

「東北地方太平洋沖地震に伴う津波被害の地域特性と南北格差について」

柳川 竜一（地域防災研究センター特任助教）

防災まちづくり部門報告 19:20 ～（進行：廣田純一部門長）

「高台移転事業の現実～大船渡市 A 地区を例に～」

廣田 純一（農学部教授）

「スマートフォンを用いた津波警報時における避難誘導の試み」

田中 隆充（教育学部教授）

災害文化部門報告 20:00 ～（進行：越野修三部門長）

「防災教育が照らし出す災害文化」

山崎 友子（教育学部教授）

質疑応答 20:20 ～



銀河ホール（定員 120 名）

※工学部の駐車場が利用できます。

主催：岩手大学地域防災研究センター

後援：岩手県、盛岡市、岩手日報社、NHK 盛岡放送局、IBC 岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手

岩手大学地域防災研究センター

Research Center for Regional

Disaster Management

〒020-8551

岩手県盛岡市上田 4-3-5

TEL/FAX : 019-621-6448

E-MAIL : rcrdmf@iwate-u.ac.jp

WEB : <http://rcrdm.iwate-u.ac.jp>



➡ **地域防災とは**

既存の防災研究機関では、地震津波の規模及び発生確率の想定に向けた研究が行われ、防衛対策の基本方針の策定に大きく貢献してきました。

一方こうした「自然現象からみた防災」の観点での研究成果を踏まえ、地域ごとの具体的な防災計画を策定するためには「地域住民から見た防災」、つまり地域防災の観点が必要です。

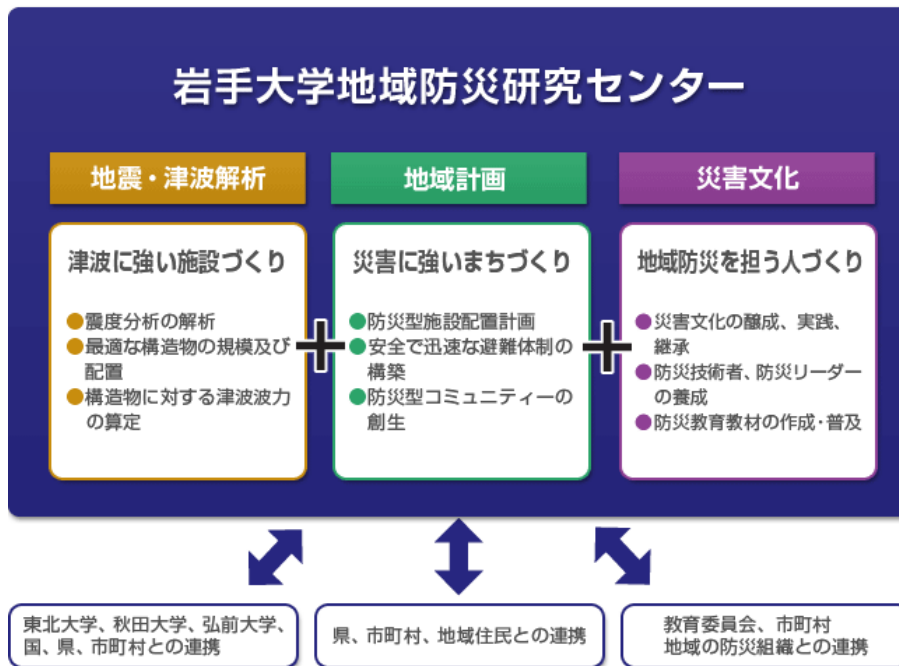
地域の地形、産業構造、歴史・文化などを考慮し、津波に災害に強い**(1) 施設づくり** **(2) まちづくり**と、地域固有の災害文化を醸成・実践・継承する**(3) ひとづくり**を機能的に連携させたボトムアップ型防災システムが、ここで提案する地域防災です。



**事業実施概要**

- これまで岩手大学が実施してきた地域密着型の活動（防災体制構築への支援、防災教育など）をさらに拡充し、東日本大震災による被災地の復興に向け、「施設づくり」「まちづくり」「ひとづくり」に貢献
- 地域特性に応じた防災対策と、津波常襲地帯に暮らすための知恵である災害文化からなるボトムアップ型防災システム（三陸モデル）を構築
- 三陸モデルを、今後巨大地震の発生が危惧される東南海地域などへ展開
- 岩手県が構想する「国際的防災研究拠点（案）」の中核機能として実施
- 他大学、他研究機関と連携し、相互補完的な事業実施により効果的な成果を創出

**取組の体系**



**3つの歯車の機能的連携**

